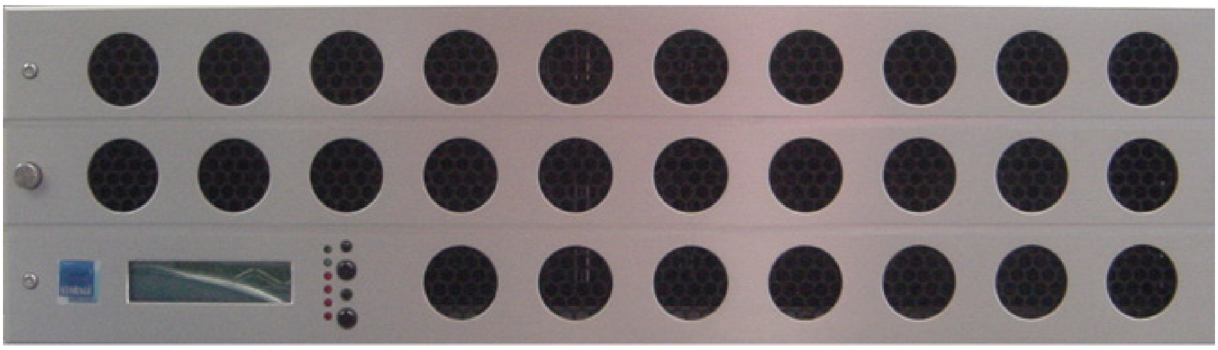
NAS Storage

NF-R3016GAW

取扱説明書



コアマイクロシステムズ株式会社

2006 年 3 月

Rev1.1

はじめに

この度は、NF-R3016GAW をお買上げいただきまして誠にありがとうございます。

本書では、基本的な取扱い方法、注意事項、機能及び仕様について記述してありますので、ご使用前にご一読されますようお願いいたします。

重要

停電等によって、データが消失してしまう可能性がありますので、

運用時には、データのバックアップ及び無停電電源（UPS）の使用をお勧めします。

ご注意

① 本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。
② 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。
③ 本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、②項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
④ 本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせ下さい。
⑤ 本製品の仕様、デザインおよびマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。
⑥ 本製品を使用して収納したデータが、ハードウエアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはフロッピーディスク、3.5 インチ光磁気ディスク、テープバックアップ装置などにあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
⑦ 弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。
⑧ 本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても弊社ではいかなる責任も負いかねます。
⑨ 本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

********** 安全にお使いいただくために **********

本製品を安全に正しくご使用いただくために、このマニュアルには安全表示を使用しています。
これらの記載事項は安全のために必ずお守りください。

絵表示について

本製品を正しくご使用いただいて、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、このマニュアルおよび本製品への安全表示については、以下の絵表示をしています。

表示	内容
⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人の死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容または物理的損害の発生が想定される内容を示しています。
❗ 重要	装置の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、操作上必ず守っていただきたい重要事項や制限事項を示しています。

危険／注意ラベル表示について

本製品の外部または内部に黄色地に黒文字で表示されているラベルがあるときは、安全上に関して危険または注意のラベルです。必ず表示の指示に従ってください。

このマニュアルに記載されている以外に危険または注意ラベルによる表示があるときは（例えば製品上に）、必ずそのラベルによる指示に従ってください。

⚠ 危険

- 高温になる場所、湿気の多い場所では使用しないでください。火災や感電の恐れがあります。「製品仕様」で動作環境をご確認ください。
- 通気孔をふさがないでください。熱がこもり、火災の原因となります。本製品は前面より吸気し後部より排気しますので、特に前後の通気にはご注意ください。
- 空気が正しく循環するように、本製品の通風口から５cm以上のスペースを空けてください。
- 本製品にケーブル類を抜き差しする場合には、本製品および接続される機器の電源を必ず切断して行ってください。ケーブルを破損させて、火災や感電の恐れがあります。
- 本製品を取り扱う場合は、安全の為に、開梱・梱包・設置時には2名以上で作業をうことをお勧めいたします。
- 本製品は分解しないでください。分解した状態で使用すると火災や感電の恐れがあります。
- 本製品を取り付ける際には、適切に設置してください。振動し易い状態であったり、落下し易い状態であると、振動の発生による性能劣化や、落下に伴う人体への危険性があります。

⚠ 注意

- 本装置は重量物の為、落下時に怪我をする恐れがあります。そのため開梱設置取付等を行う場合は、必ず２名以上で作業を行ってください。

- 振動の発生する場所で使用しないでください。誤動作、故障の原因となります。

- 急激に温度差を与えると、機器が結露して故障の原因となります。結露させないようにご注意ください。万一、結露させてしまった場合は、１時間以上放置し、完全に乾いたことを確認してからご使用ください。ただしこの場合の正常動作の保証はできません。

- テレビ、スピーカー等、強い電磁気を発生する電子機器の近くに置かないでください。誤動作、故障の原因となります。

- 移動する場合は、必ず電源を切り、振動や衝撃を与えないようにしてください。 誤動作、故障の原因となります。移動する場合には専用梱包箱のご使用をお勧めします。

- ラックに取り付ける際には、怪我防止の為、必ず手袋を使用してください。

- 通電の状態で、故障していないドライブを引き抜かないでください。通電の状態でドライブを引き抜くと、ファーム・ウェアがそれを検知し、ドライブ・ユニットを故障として扱います。さらに動作中の正常なドライブを引き抜いた場合、ドライブ内部のヘッド、ディスクに修復不可能なダメージを与え、故障の原因となります。

- 開梱および移動後に使用する場合には、誤動作を避けるため、電源を投入する前にドライブを１台ずつ押し込んでください。

- 本製品には動作確認し、初期化されたドライブを使用しています。交換部品として用意されたディスク・モジュール以外のドライブを、容量やメーカー、型番が同じであっても、ご自分で購入して交換しないでください。保守交換部品については「交換部品」を参照してください。

- 短時間に電源のオン・オフを繰り返さないでください。容量の大きなドライブは内部のディスクの枚数が多く、その回転が止まるまでに時間がかかります。短い間に電源のオン・オフをすると、止まりかけたディスクの回転を再度始めることになり、ドライブのスピンドル・モーターやヘッド等にダメージを与え、寿命を短くする恐れがあります。電源をオフした場合、ドライブ内部のディスクが停止するのにかかる十分な時間（約15秒）をおいてから、電源をオンしてください。万一 正常なドライブを取り外すときも同様に、電源をオフしてから十分な時間をおいてから取り外してください。

- ドライブ障害が発生し、リビルド動作を実行中に電源のオン・オフを行わないでください。
ドライブへの書き込み中に電源が落ちますとドライブ内のデータやドライブ自身が壊れる場合があります。

- 電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

設置時のご注意

本製品の推奨する最高使用温度は35°Cです。本装置をに設置する場合は、本装置を内温度（本製品の周囲温度）が35°Cを越えないようにしてください。
本製品の通気は前面→背面で行われます。本装置を設置後に通気孔がふさがれないようにしてください。
本装置を設置時は、取付金具を用いて確実に設置できていることを確認してください。
設置後、キャビネットなどの電源アウトレットを利用する場合、本製品の定格が確保できることを確認してください。
本装置の電源インレットは、確実に接地してください。

重要

- 本Serverの記憶装置はRAIDアーキテクチャに基づき、１台のドライブに障害が発生してもデータの損失を防ぐよう設計されています。もし２台以上のドライブに同時に障害が発生した場合や、冗長化されていない部品に障害が発生した場合はデータが失われる可能性があります。また、冗長性のないRAIDレベル０の場合は、１台のドライブに障害が発生した場合でも、データが失われる可能性があります。あらかじめご了承ください。また、人為的なデータの消去、機器の損壊などの理由によりデータを失う可能性もありますので、重要なデータは必ず定期的にバック・アップをお取りください。

- ホスト・システムが稼働中に、本製品の電源を遮断しないでください。本製品のキャッシュ・バッファ内に残っているデータが失われたり、ファイルがこわれる可能性があります。緊急の事態以外は、本製品のディスク・ドライブへのアクセスが停止してから本製品の電源を遮断してください。

- 停電等によって、キャッシュ・バッファ内のデータが、消失してしまう可能性がありますので、無停電電源（UPS）の使用をお勧めします。

- ドライブ障害が発生し、リビルド動作を実行中に電源のオン・オフを行わないでください。
  ドライブへの書き込み中に電源が落ちますとドライブ内のデータやドライブ自身が壊れる場合があります。

目　次

1. 製品のご紹介

1.1 製品概要

NF-R3016GAW はネットワークから明示的に設定・管理を行うことが可能な専用インターフェースを装備しており、ネットワーク上の共有ストレージやバックアップストレージ等としてご利用いただけます。また、オプションのレプリケーションソフトウェアを導入して頂くことによりレプリケーション環境の構築が可能になります。

本製品は、Microsoft®Windows®Storage Server 2003(以下、本書では WSS2003 と略す場合があります）を搭載しており、既存のインフラにネットワークを停止しなくても、ストレージの増設を必要としているワークグループにストレージ資産を提供することができます。
Microsoft®Windows®Storage Server 2003では、ファイル サービス プロトコルが幅広くサポートされているため、Windows®、UNIX、Macintosh®などのさまざまなプラットフォームが混在する環境でも容易、効率的にファイルを共有できます。これは、異なるプラットフォームを使用しているユーザーでも、余分な操作をせずに共有ファイルにアクセスできます。

本製品の内蔵 RAID システムは、RAID0,1,5,6 をサポートし、SATA ドライブを 16 台搭載しております。

※本製品にはRAIDコントローラを搭載し、ディスク(HDD)の冗長化を行なっておりますが、RAID(1,5,6)システムは、絶対に故障しないシステムではありません。RAIDを構成しているHDDに同時に複数台の故障が発生した場合は、全てのデータが失われますので、データをより安全に保管するために、他のバックアップ装置への「定期的なバックアップ」をお勧めいたします。

※RAID 構成につきましては、出荷時は弊社推奨の構成となっておりますので、設定を変更する場合は、添付マニュアルよく読んでご使用ください。

1.2 梱包品の確認

	梱包品	数量
1	NF-R3016GAW 本体	1
2	電源ケーブル	3
3	スライドレールキット	1 式
4	ARECA　RAID Controller CD-ROM	1
5	ARECA　RAID Controller User's Manual	1
6	TYAN S5360 User's Manual	1
7	TYAN Driver CD	1
8	NF-R3016GAW CD-ROM	1
9	保証書	1
10	オンサイト保守登録用紙（オンサイト保守付きの場合のみ）	1
11	オンサイト保守契約約款（オンサイト保守付きの場合のみ）	1

※本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず購入時の梱包材・箱をご使用ください。

1.3 製品仕様

＜基本仕様＞

項 目		仕 様
ネットワークインターフェース		デュアル Ethernet 1000Base-T /100Base-TX/10Base-T
ネットワーク最大転送スピード		2,000Mbit／s （1000Base ｘ 2ch）
ネットワーク接続モード		トランキング／フェイルオーバ／ロードバランス
容量	RAID 0	6.4TB (400GB x 16)
	RAID 1	3.2TB (400GB x 8)
	RAID 5	6TB (400GB x 15)
	RAID5 ロジカルドライブ x 14 ＋ スペアドライブ × 2 (出荷時設定)	Volume0 : 10GB (OS 用) Volume1 : 2TB Volume2 : 2TB Volume3 : 1.2TB
CPU		Intel XEON 3.0GHz
チップセット		Intel E7520
メモリー容量		2GB (DDR-333 Registered ECC 1GB x 2)
NAS OS		Windows Storage Server 2003
サポートクライアント		Windows, UNIX, Apple
サポートファイル共有プロトコル		SMB/CIFS, NFS, Apple Talk, DFS
サポートネットワークプロトコル		TCP/IP, NetBEUI, Apple Talk, HTTP, FTP
Windows Storage Server 2003 管理インターフェース		＊ Web ユーザー インターフェース (UI) ＊ リモート デスクトップ ＊ NF-R3016GAW デスクトップ(キーボード、マウス、VGA 必要)
搭載 HDD 構成		3.5" HDD x 16 台
搭載 HDD 仕様		7,200rpm SATA 400GB

＜RAID コントローラ部仕様＞

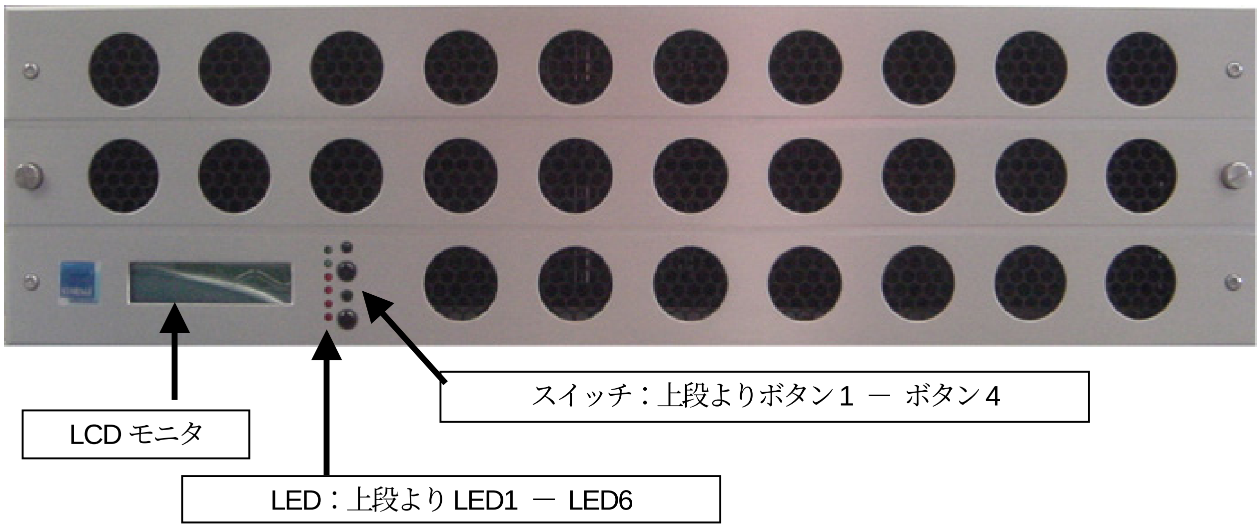
項 目	仕 様
使用 RAID コントローラ	ARC-1160 RAID CONTROLLER (ARECA)
RAID コントローラの形式	16 port PCI-X to SATA RAID Controller
RAID プロセッサ	Intel 80331 I/O processor
キャッシュメモリ	128MB on-board DDR333 SDRAM with ECC
キャッシュサポート	Write-through, Write-back
RAID レベル	0, 1, (0+1), 3, 5 , 6 , J-BOD
RAID 機能	ホットスワップ/ホットスペア/オートリビルド
モニタリング	LED、アラームブザー

＜一般仕様＞

項 目	仕 様
使用電源	760W ホットスワップ 2+1 冗長化電源
適応安全規格	電源部 UL, CSA, TUV 適合品使用
適応 EMI 規格	電源部 FCC Class B 適合品使用
所要電源	AC95～264V オート 50/60 Hz
消費電力	760W 以下
動作環境温度範囲	10℃～35℃
動作環境湿度範囲	10%～80% (結露無き事)
寸法	677mm(D) x 484mm(W) x 132mm(H) (突起部含まず)
	702mm(D) x 484mm(W) x 132mm(H) (突起部含む)
	842mm(D) x 606mm(W) x 315mm(H) (梱包箱)
本体重量	40Kg 以下 (HDD 含む)
ネットワークインターフェースコネクタ	RJ-45 x 2
その他の I/F コネクタ (背面)	PS2 (キーボード、マウス) 、VGA(DSUB-15PIN)、 USB 2 ポート、シリアルポート
ホットスワップユニット	HDD(トレイ), 電源モジュール

1.4　各部の名称と機能

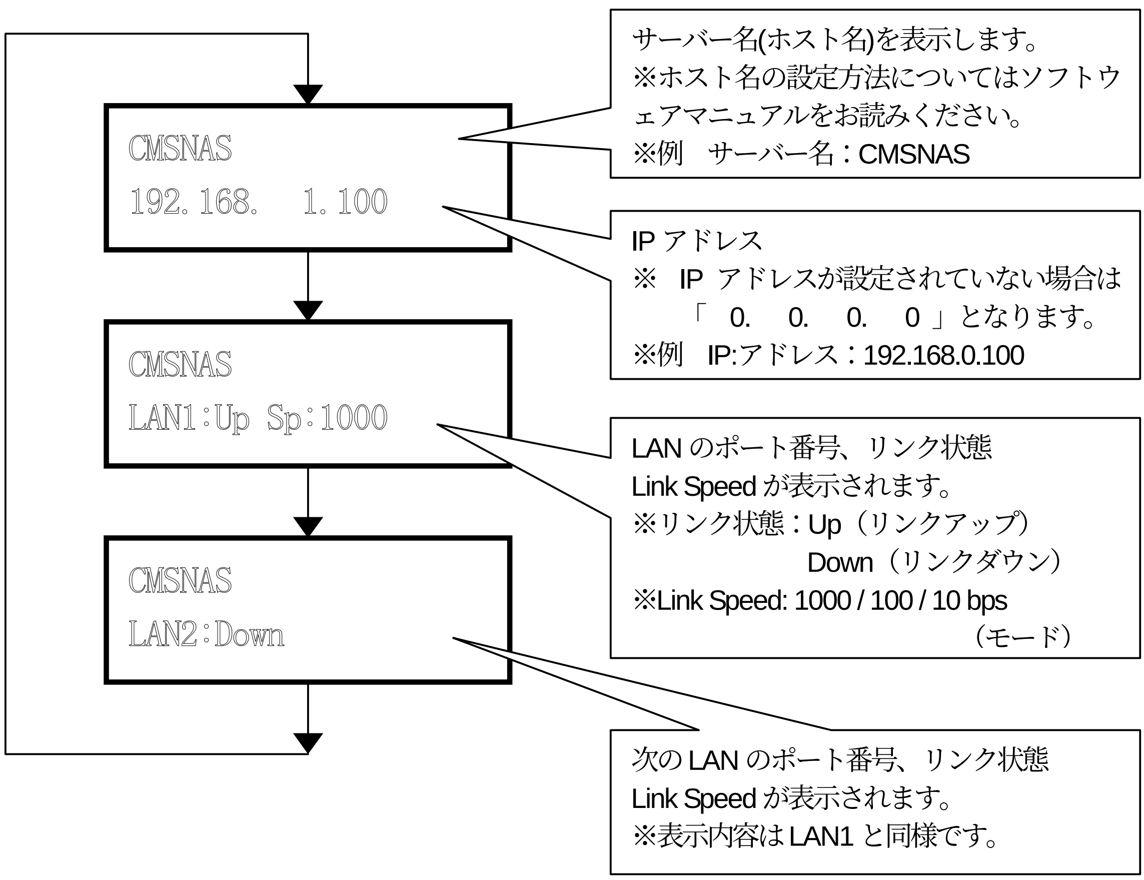
＜NF-R3016GAW＞（前面）



【LCD モニタ】

本体の動作状態を表示します。

・正常動作時は以下のメッセージを４秒毎に切り替わり表示します。



※異常検出時のLCDの表示メッセージについては　別項【LCD表示メッセージ一覧】をお読み下さい。
【スイッチ】

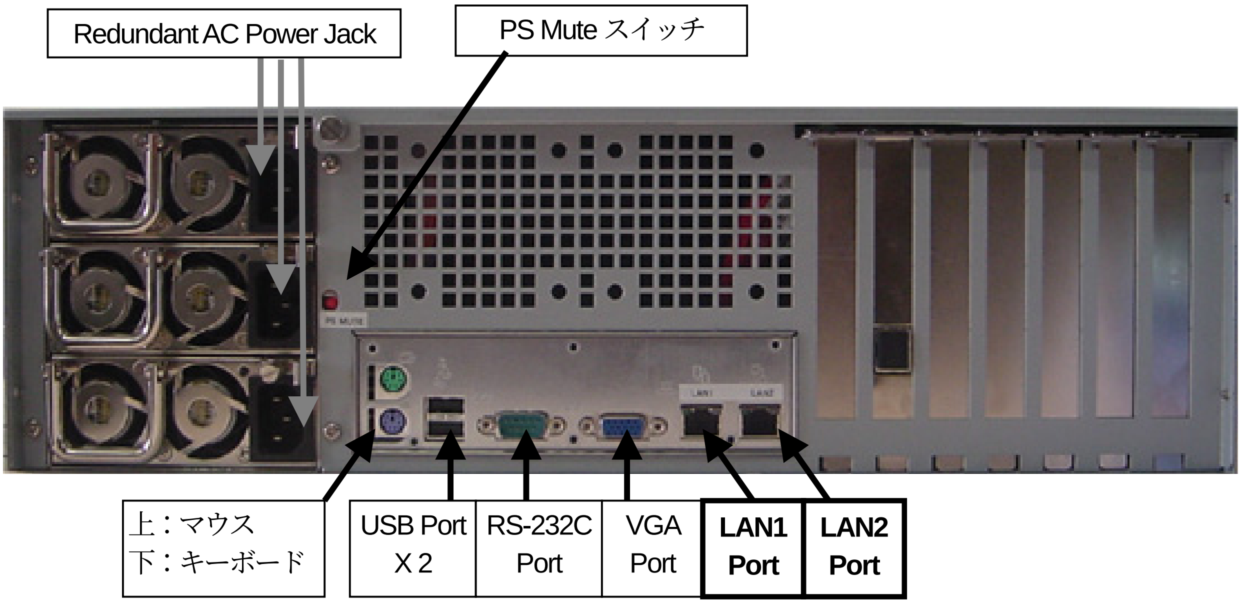
ボタン	機能	説明
1	本体の電源のオン／オフ（オフは長押し）	WSS2003の起動中に長押しすると強制的に本体の電源が切れますが、システムの障害の原因とる場合がありますのでオフスイッチとしては使用しないで下さい。 ※本体をオフする場合は、本項４のボタン、管理Web UI、もしくは、リモートディスクトップより行って下さい。
2	LCD表示のブリンク停止	押している間、ブリンクが停止されますのでメッセージの文字が読みやすくなります。
3	本体のリセット	本体が強制的にリセットされます。WSS2003起動中に動作させると、システムの障害の原因となる場合がありますので通常は使用しないで下さい。
4	本体のシャットダウン	WSS2003のシャットダウンを行います。 ※WiSS2003起動中でないと機能しません。 また、本システムに接続をしているユーザーが存在している場合はシャットダウンがペンディング状態になります。すぐにシャットダウンが必要な場合は管理Web UI、もしくは、リモートディスクトップより行って下さい。

【ステータスLED】

No	LED名称	色	機能
1	Power	緑	点灯：本体電源投入時 消灯：本体電源切断時
2	Volume Status	緑	点灯：RAIDボリュームが正常な状態 消灯：RAIDボリュームに障害が発生している状態
3	電源Fault Status	赤	消灯：電源正常動作時 点灯：電源Fail時 ※電源Fail時は同時に電源ユニットからアラート音が鳴ります。 ※障害の状態がLCDモニタに表示されます。
4	FAN Fail Status	赤	消灯：各FAN正常動作時 点灯：各FAN Fail時 ※障害の状態がLCDモニタに表示されます。
5	温度監視Status	赤	消灯：各部の温度正常動作時 点灯：各部の温度異常検出時 ※障害の状態がLCDモニタに表示されます。
6	システム監視Status	赤	消灯：システム正常動作時 点灯：システム異常動作検出時 障害の状態がLCDモニタに表示されます

※電源の切断時は前面の全てのLEDは対象部位の状態に関係なく必ず消灯しています。
※障害発生時のLCDモニタの表示メッセージ、監視部位については　別項【LCDモニタ表示メッセージ一覧】をお読み下さい。

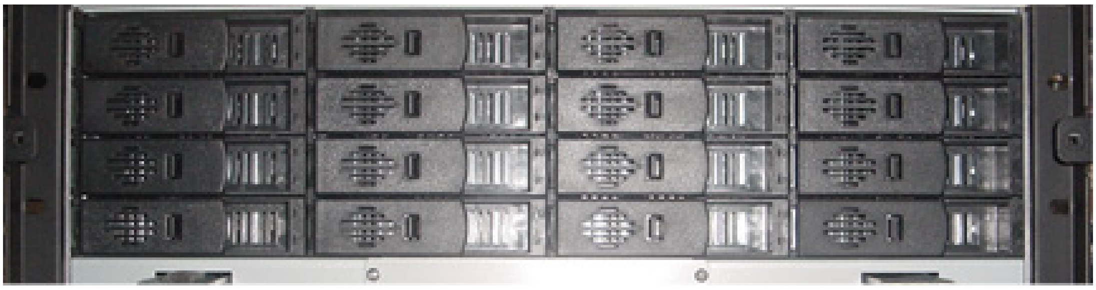
＜NF-R3016GAW＞（背面）



【各部の説明】

No		機能
1	LAN1、LAN2	本製品を適用するネットワークに接続します。 コネクタタイプ：RJ-４５ ※NAS として接続する際は必ず LAN1 を優先して接続してください。
2	PS Mute スイッチ	電源に障害が発生すると電源ユニットよりアラート音が鳴り出しますが本スイッチを押すと消音されます。 ※本スイッチは電源ユニットに直接接続されているため、このスイッチ以外の手段ではアラート音は消音できません。 ※消音しても障害が解消されたわけではありませんので直ちに正常状態への復旧作業を行って下さい。
3	Redundant AC Power Jack	AC 電源ケーブルの入力ジャックです。動作の際は必ず３ヶ所全てに接続してください。
4	RS-232C Port	RS232C ポートです。 UPS をシリアルポートで制御する場合等に使用します。
5	マウス キーボード VGA Port USB Port (×2)	本体にディスプレイ、キーボード、マウスを接続して直接操作を行う場合に使用します。 通常はメンテランス時に利用します。

＜HDD ベイ＞（フロントパネルを引き出した状態）



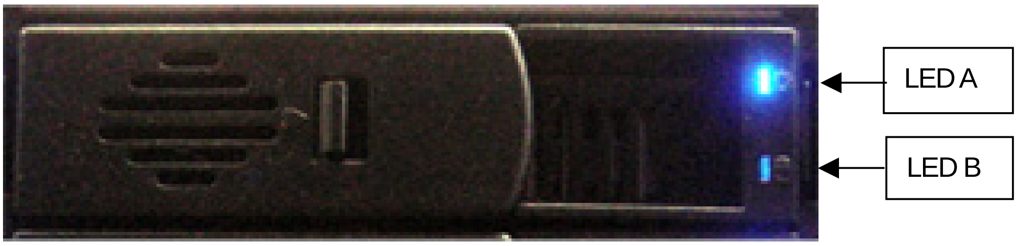
【HDD スロット位置】

・HDD のスロット位置番号は上図の配置に対して以下の通りとなります。（前面から見る）

HDD#1	HDD#5	HDD#9	HDD#13
HDD#2	HDD#6	HDD#10	HDD#14
HDD#3	HDD#7	HDD#11	HDD#15
HDD#4	HDD#8	HDD#12	HDD#16

※LCD モニタおよび WSS2003 の Web UI イベントで報告される HDD 番号は上記のスロットの位置を示しています。

【各トレイ(HDD)のステータス表示】



【HDD トレイステータス LED】

No	LED 名称	色	機能
1	LED A	青	青点灯：HDD 装着時 消灯：HDD 未装着時
2	LED B	青 赤	青点滅：HDD アクセス時 赤点灯：HDD FAIL(故障、障害等)時 赤、青同時点滅：リビルド時 ※リビルド時は赤と青が同時に点滅するため混合色となりますので、どちらの色とも異なった発色となります。

2. 代替え（追加）用ドライブの組み込み手順

2.1 本 Server 用代替え（追加）用ドライブの組み込み手順

注意

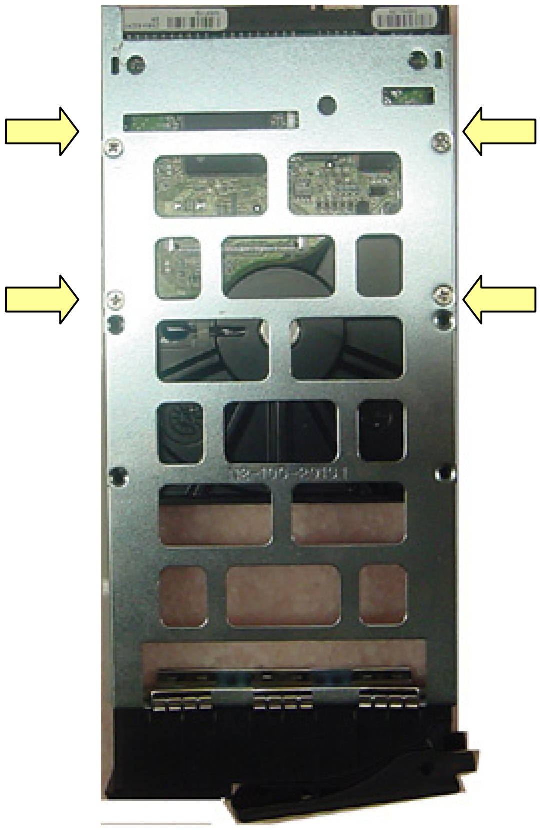
・HDD は衝撃および静電気に対して非常にデリケートです。 ショックを与えないよう十分注意し、HDD に触れる前に何らかの方法で人体の静電気を放電してください。
・HDD に破損があった場合（コネクタの欠け、ラベルはがれ等）は、交換に応じられない場合があります。慎重にお取り扱いください。
・トレイに装着している HDD は工場にてエージングテストをして出荷しております。 インストール時に落下したり、また他のディスクを使用したりしないようにお願いします。
・HDD を 16 台未満で使用する場合も、必ず空トレイを装着してください。 トレイが装着していないベイがあると適切なエアーフローが得られず、内部の発熱により重大な障害を起こす恐れがあります。

1）代替え用ドライブは同モデル又は同シリーズ、容量が同じ又は大きいものをご使用ください。
2）装着トレイ中央部のロック解除ラッチを左に押しながら、トレイレバーを手前にひきます。ゆっくりとトレイを取り出して下さい。
3）ドライブをトレイに装着し、付属ネジでドライブをサイドから固定してください。
4）ドライブを装着したトレイのレバーがカチッと音がするまで本装置に押し込んで装着して下さい。

<HDD トレイ（表）>



<HDD トレイ（裏）>



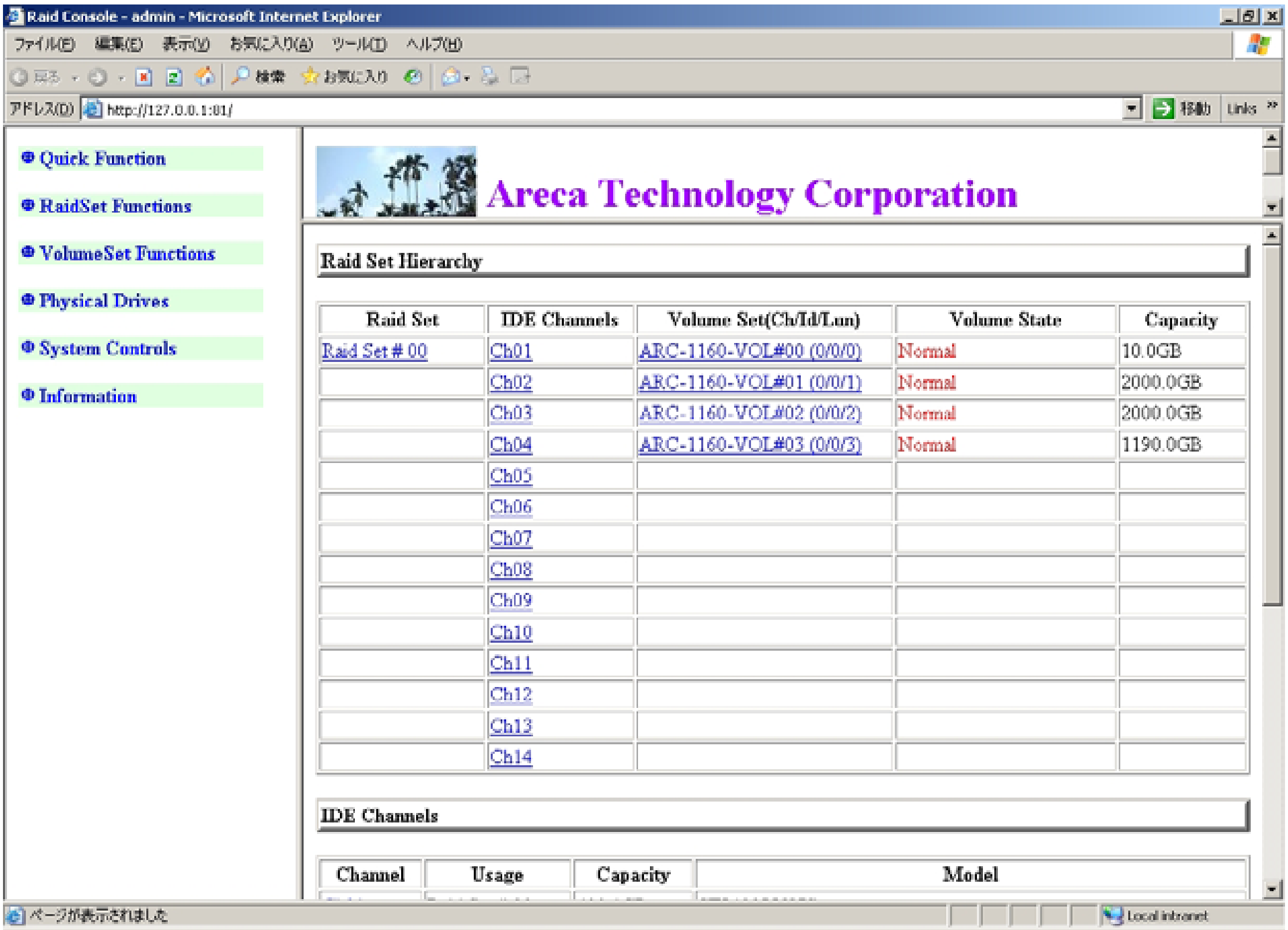
3.　RAID ボリューム出荷設定および変更について

> ⚠ 注意
>
> ・ボリュームの変更を行うと内部のデータは全て消去されます。一度消去されると復旧はできませんので十分ご注意の上行って下さい。（データの消失については弊社では一切の責を負いかねます。）
> ・ボリュームの変更はシステムディスク(C ドライブ)に対しては絶対に行わないでください。OS(Windows Storage Server)が起動しなくなります。（完全復旧の作業が必要になります。）
> ・RAID ボリュームの変更は本製品に搭載の RAID CARD のユーティリティにて行います。
> 詳細は本製品添付のマニュアルをお読みください。

3.1　RAID ボリューム出荷設定

本製品の出荷時は以下の通り設定しております。
RAID マネージャの操作方法については本製品添付のマニュアルをお読みください。

【RAID マネージャ管理画面】



4. 接続について

4.1 設置場所

本製品は机上など安定した水平な場所に設置してください。

⚠ 設置環境のご注意

- **周囲温度**

  本製品の使用温度範囲は10℃～35℃です。 本装置を設置する場合は、周囲温度が10℃～35℃の範囲を越えない範囲にしてください。 他の装置との間隔を十分に開けて通風を良くしてください。本製品の通気は前面→背面で行われます。本装置を設置後に通気孔がふさがれないようにしてください。空気が正しく循環するように、本製品の通風口から5cm以上のスペースを空けてください。 また密閉タイプのラックを使用する場合、適切な通風が出来ない場合があります。 このような場合には通風を良くする為に前面及び後面扉を開放してご使用ください。 ハードディスクは温度が高いほど故障率が高くなります。 許容温度範囲内で出来る限り低い温度でご使用ください。

- ホコリ

  ホコリの多い環境に設置した場合、ホコリが内部に蓄積され、コントローラ基板の絶縁不良、通風悪化による内部温度の上昇、各コネクタ部の接触不良等により故障が発生し易くなります。 出来る限りホコリの少ない場所に設置してください。

5.　動作概要

5.1　起動

・本装置の電源を投入後、OS（Windows Storage Server 2003）が起動するまでしばらく(数分) かかります。
OS起動が起動するとLCDモニタにサーバー名が表示されますのでその時点で起動完了です。
起動時点でLCDモニタ、ステータスLED、アラート音等で障害が発生していないかを必ず確認して下さい。

5.2　シャットダウン（停止）

・本装置は、キャッシュメモリを搭載しております。電源を切る際は、ホストシステムからのアクセスが無いことを確認してから電源を切って下さい。

5.3　ドライブ故障および RAID1、5 モードでの自動復旧（オートリビルド）

・ドライブに障害が発生すると、障害ドライブのトレイの「エラーLED 」（赤）が点灯します。障害ドライブは、すみやかに取り外して下さい。
・スペアドライブがない状態のままでもご使用できますが、更に続けて別のドライブが故障すると、全てのデータが消失してしまう場合があります。スペアドライブがない状態の場合はすみやかに故障ドライブを取り除き、新しいドライブ(スペアドライブ)に交換(追加)して下さい。
・本製品にはスペアドライブを２台設定してありますので、ドライブ故障(障害)検出するとスペアドライブを使用して自動的にRAID の再構築（リビルド）を開始します。この場合、ホストからのアクセスには支障をきたしませんが、アクセス速度は、正常時と比較すると遅くなる場合があります。再構築（リビルド）が完了するまではこの状態が継続されます。

5.4　リダンダント電源、ファン、トレイ故障 他

・リダンダント電源、等 故障した場合は、速やかに管理者にご報告ください。これらの部品はホットプラグ（電源が入ったままの状態での交換）が可能です。お客様で交換する場合には障害が発生した部位を間違わないように注意して行って下さい。

6. 障害検出時のメッセージ

【LCD モニタ表示メッセージ一覧】

<table>
<tr><th>LED 点灯</th><th>LCD メッセージ</th><th>監視部位</th><th>状態</th></tr>
<tr><td>LED3</td><td>PS Fault</td><td>電源</td><td>電源の冗長性の欠落</td></tr>
<tr><td rowspan="5">LED4</td><td>Fault FAN(1)</td><td>FAN1</td><td rowspan="5">各 FAN の回転数の異常
（完全停止状態を含む）</td></tr>
<tr><td>Fault FAN(2)</td><td>FAN2</td></tr>
<tr><td>Fault FAN(3)</td><td>FAN3</td></tr>
<tr><td>Fault FAN(4)</td><td>FAN4</td></tr>
<tr><td>Fault FAN(CPU0)</td><td>FAN(CPU0)</td></tr>
<tr><td rowspan="18">LED5</td><td>Temp high (CPU0)</td><td>CPU0 温度</td><td rowspan="2">対象部位の温度異常の検出</td></tr>
<tr><td>Temp high (M/B)</td><td>MB 温度</td></tr>
<tr><td>Temp high (HD-1) xx°C</td><td>HDD1 温度</td><td rowspan="16">各 HDD の温度異常の検出

※xx は検出した温度を表示</td></tr>
<tr><td>Temp high (HD-2) xx°C</td><td>HDD2 温度</td></tr>
<tr><td>Temp high (HD-3) xx°C</td><td>HDD3 温度</td></tr>
<tr><td>Temp high (HD-4) xx°C</td><td>HDD4 温度</td></tr>
<tr><td>Temp high (HD-5) xx°C</td><td>HDD5 温度</td></tr>
<tr><td>Temp high (HD-6) xx°C</td><td>HDD6 温度</td></tr>
<tr><td>Temp high (HD-7) xx°C</td><td>HDD7 温度</td></tr>
<tr><td>Temp high (HD-8) xx°C</td><td>HDD8 温度</td></tr>
<tr><td>Temp high (HD-9) xx°C</td><td>HDD9 温度</td></tr>
<tr><td>Temp high (HD-10) xx°C</td><td>HDD10 温度</td></tr>
<tr><td>Temp high (HD-11) xx°C</td><td>HDD11 温度</td></tr>
<tr><td>Temp high (HD-12) xx°C</td><td>HDD12 温度</td></tr>
<tr><td>Temp high (HD-13) xx°C</td><td>HDD13 温度</td></tr>
<tr><td>Temp high (HD-14) xx°C</td><td>HDD14 温度</td></tr>
<tr><td>Temp high (HD-15) xx°C</td><td>HDD15 温度</td></tr>
<tr><td>Temp high (HD-16) xx°C</td><td>HDD16 温度</td></tr>
<tr><td rowspan="19">LED6</td><td>Vol-n Fault</td><td rowspan="3">RAID Volume
(n はボリューム
番号)</td><td>RAID ボリュームの消失</td></tr>
<tr><td>Vol-n Degrade</td><td>RAID ボリュームの Degrade 状態</td></tr>
<tr><td>Rebuilding Vol-n</td><td>RAID ボリュームのリビルディング状態</td></tr>
<tr><td>Fault HDD(1)</td><td>HDD1 ステータス</td><td rowspan="16">各 HDD の FAIL の検出</td></tr>
<tr><td>Fault HDD(2)</td><td>HDD2 ステータス</td></tr>
<tr><td>Fault HDD(3)</td><td>HDD3 ステータス</td></tr>
<tr><td>Fault HDD(4)</td><td>HDD4 ステータス</td></tr>
<tr><td>Fault HDD(5)</td><td>HDD5 ステータス</td></tr>
<tr><td>Fault HDD(6)</td><td>HDD6 ステータス</td></tr>
<tr><td>Fault HDD(7)</td><td>HDD7 ステータス</td></tr>
<tr><td>Fault HDD(8)</td><td>HDD8 ステータス</td></tr>
<tr><td>Fault HDD(9)</td><td>HDD9 ステータス</td></tr>
<tr><td>Fault HDD(10)</td><td>HDD10 ステータス</td></tr>
<tr><td>Fault HDD(11)</td><td>HDD11 ステータス</td></tr>
<tr><td>Fault HDD(12)</td><td>HDD12 ステータス</td></tr>
<tr><td>Fault HDD(13)</td><td>HDD13 ステータス</td></tr>
<tr><td>Fault HDD(14)</td><td>HDD14 ステータス</td></tr>
<tr><td>Fault HDD(15)</td><td>HDD15 ステータス</td></tr>
<tr><td>Fault HDD(16)</td><td>HDD16 ステータス</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="5">LED6</td><td>Fault LAN1</td><td>LAN1</td><td rowspan="3">WSS システムにて検出された各対象デバイスの異常検出</td></tr>
<tr><td>Fault LAN2</td><td>LAN2</td></tr>
<tr><td>RAID CARD Fault</td><td>RAID CARD</td></tr>
<tr><td>HDD write error</td><td rowspan="2">その他</td><td rowspan="2">WSS システムにて Read/Write エラーの検出</td></tr>
<tr><td>HDD read error</td></tr>
</table>

以上